

【所属】 警務部 【コード】 5

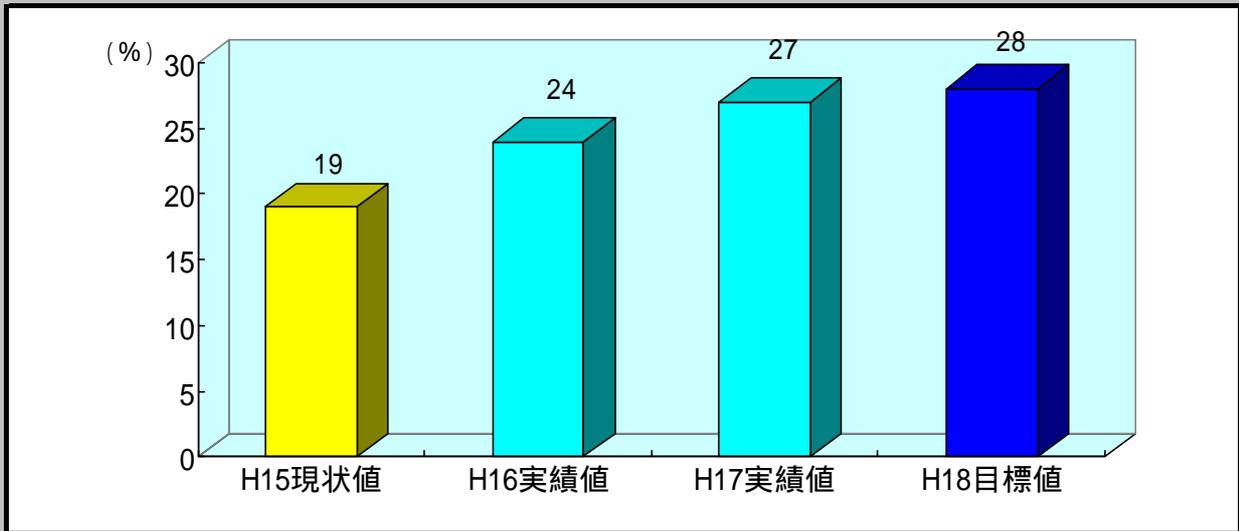
|            |                 |
|------------|-----------------|
| <b>施策名</b> | 県民の安全を守る活動基盤の整備 |
|------------|-----------------|

**目的（対象、意図）**

警察署、交番・駐在所等の治安拠点や装備資機材等が、変化する犯罪情勢に対応できるように整備されている

**施策の目標**

| 目 標 項 目      | 目 標 数 値 等 |     |
|--------------|-----------|-----|
| 交番・駐在所施設の充実度 | 目標値       | 18年 |
|              |           | 28% |
|              | 現状値       | 15年 |
|              |           | 19% |



**平成17年の業務ごとの取組、成果とコスト**

| 業務の取組と成果   | 平成17年事業費(千円) | 平成18年事業費(千円) |
|--|--------------|--------------|
| <b>1 警察施設の整備</b><br>交番・駐在所が地域の治安拠点として十分機能し、住民の安全・安心のよりどころとなる施設にするため、相談室の設置や施設のバリアフリー化等に配慮しつつ、交番・駐在所の建替、新設を行った。また、災害発生に備え、警察署の防災活動拠点としての機能充実を図った。 | 1,268,704    | 3,602,899    |
| <b>2 情報管理業務の推進</b><br>モバイルパソコンの整備など情報セキュリティ対策を強化した現場警察活動のIT化を推進し、業務の一層の効率化を図った。また、電子申請・届出システムの運用により質の高い行政サービスの提供を開始した。                           | 400,486      | 370,608      |
| <b>3 装備資機材の整備</b><br>広域化、組織化、凶悪化する犯罪などに的確に対応し、警察活動の強化に必要な装備資機材等の整備を図るとともに、その有効活用を図るため、有機的な資機材の活用方を推進した。  | 601,052      | 560,130      |

### 業務評価を踏まえた総括評価

#### ・目標達成に向けた平成17年の取組と成果

凶悪化・広域化・組織化など変化する犯罪情勢に的確に対応するため、

- ・交番・駐在所の建替、新設
- ・防災活動拠点としての警察署機能の充実強化
- ・警察活動のIT化による業務の合理化・効率化
- ・装備資機材の整備・充実及び有機的活用

等を推進し、治安拠点の整備、第一線警察活動の強化を図った。

#### ・残った課題とその要因

刑法犯認知件数は3年連続で減少し、犯罪の減少傾向は定着化しつつあるものの、依然として犯罪は多発しており、県民の不安を和らげるまでに至っていない。このため、県民ニーズは一層多様化しており、相談室の設置や施設のバリアフリー化等の施設整備、装備資機材等の整備を進めるなど第一線警察活動の強化を図ることが重要な課題となっている。

#### ・課題を踏まえた平成18年の取組み

変化する犯罪情勢に的確に対応し、警察署、交番・駐在所等が地域の治安拠点として十分に機能を発揮するよう、警察施設の建替・改修、各種装備資機材等の整備を図るとともに、警察活動のIT化の推進により業務の合理化を図り、警察活動の強化に努める。